

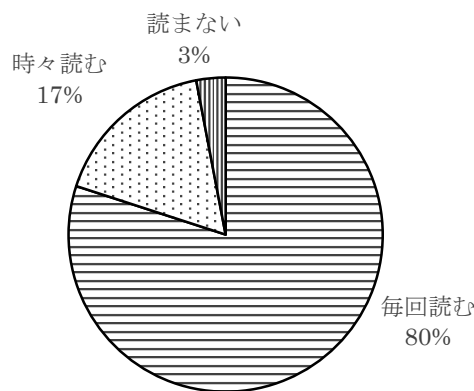
令和元年度第2回市政モニターアンケート
「広報ふじ」について

- 市政モニターの総数 100人（男性38人、女性62人） 回答者数100人（回答率100%）
- ※各回答は、小数点以下第2位で四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。
- 実施期間 令和元年11月22日～12月13日

問1 あなたは「広報ふじ」を読みますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

・毎回読む	80人	80.0%
・時々読む	17人	17.0%
・読まない	3人	3.0%

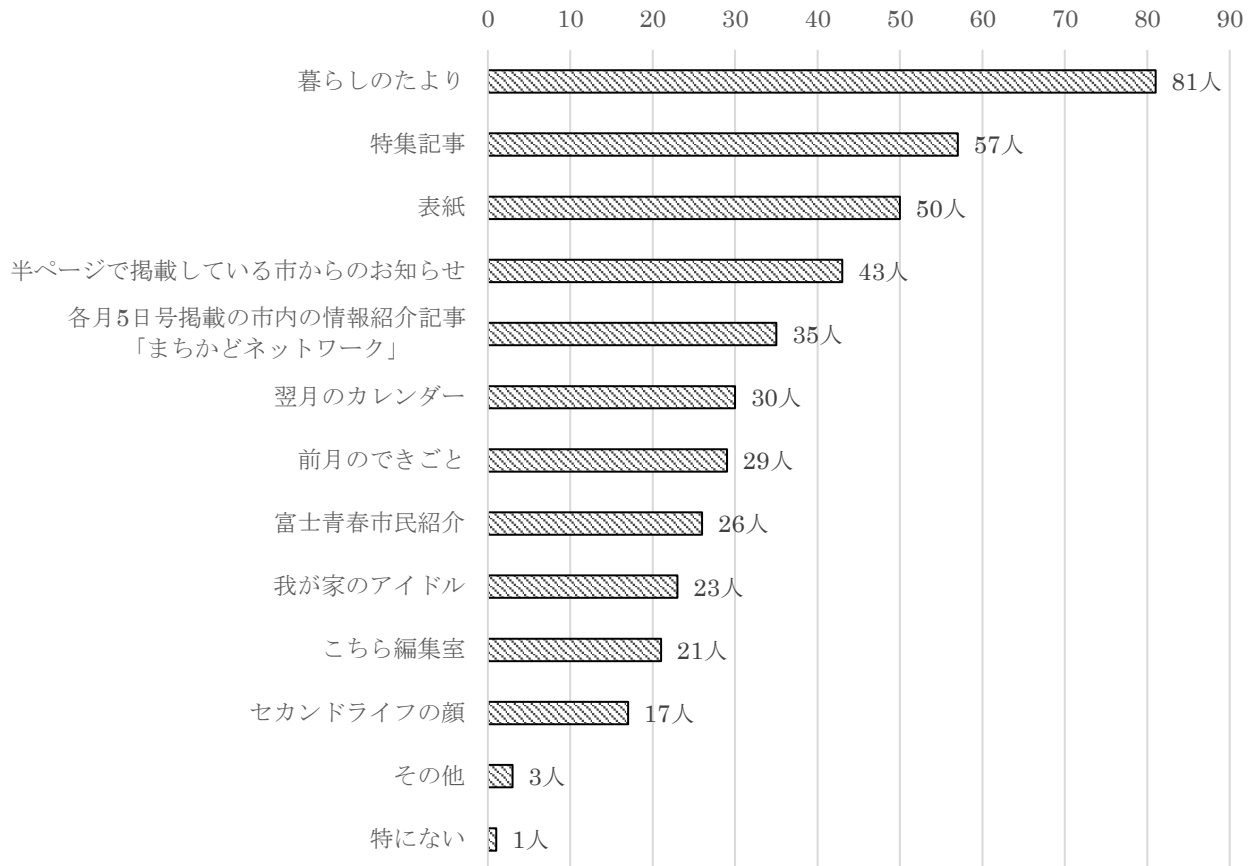


問2 問1で、「毎回読む」「時々読む」と答えた人に伺います。

あなたが「広報ふじ」に興味を持って読んでいるコーナーはどれですか。次の中から主なものを全て選んでください。

回答者数 97人

・暮らしのたより（講座・教室の参加者募集、イベントのお知らせなど）	81人	83.5%
・特集記事（インタビューや写真を交えて、市の政策・業務などを2～10ページ程度で特集したもの）	57人	58.8%
・表紙	50人	51.5%
・半ページで掲載している市からののお知らせ（交通安全運動、緑と花の百科展、住宅ローンなど）	43人	44.3%
・各月5日号掲載の市内の情報紹介記事「まちかどネットワーク」 （ズームアップ、人、見ごろ食べごろ、市長への手紙から）	35人	36.1%
・翌月のカレンダー（各月20日号の裏表紙に掲載）	30人	30.9%
・前月のできごと（写真と文章で前月のできごとを紹介）	29人	29.9%
・富士青春市民紹介（各月5日号の裏表紙に掲載）	26人	26.8%
・我が家のアイドル	23人	23.7%
・こちら編集室（裏表紙に掲載）	21人	21.6%
・セカンドライフの顔	17人	17.5%
・その他	3人	3.1%
・特にない	1人	1.0%



●その他

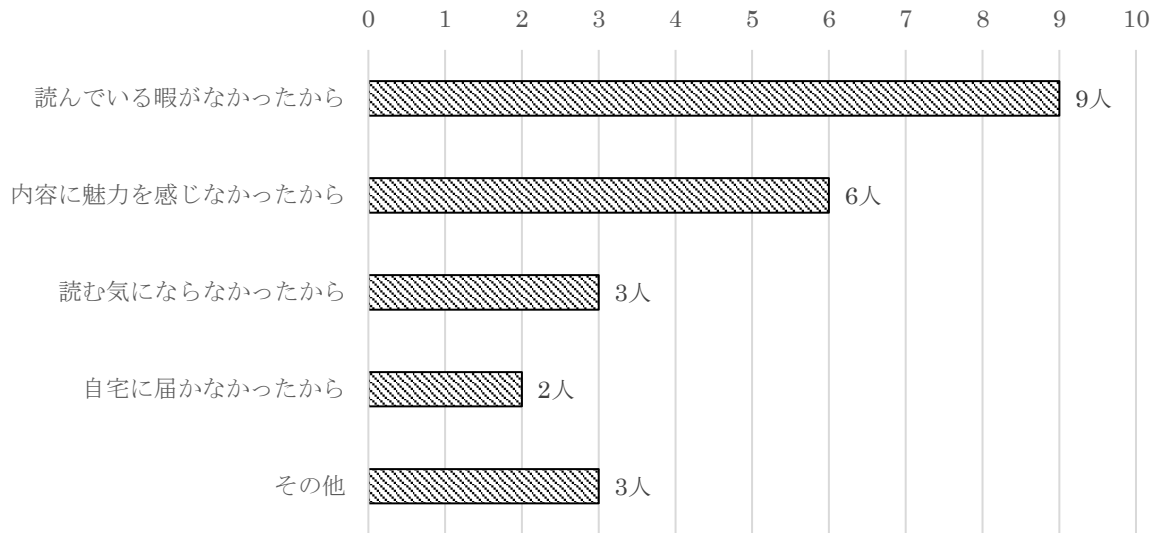
- ・青春市民紹介は市長が提唱している生涯青春都市に似ているところがあるため、個人色が強いように思う
- ・職員の給与公表
- ・富士市の人口増減

問3 問1で、「時々読む」「読まない」と答えた人に伺います

あなたが「広報ふじ」を読まなかった理由は何ですか。次の中から該当するものを全て選んでください。

回答者数 20人

- | | | |
|-----------------|----|-------|
| ・読んでいる暇がなかったから | 9人 | 45.0% |
| ・内容に魅力を感じなかったから | 6人 | 30.0% |
| ・読む気にならなかったから | 3人 | 15.0% |
| ・自宅に届かなかったから | 2人 | 10.0% |
| ・その他 | 3人 | 15.0% |



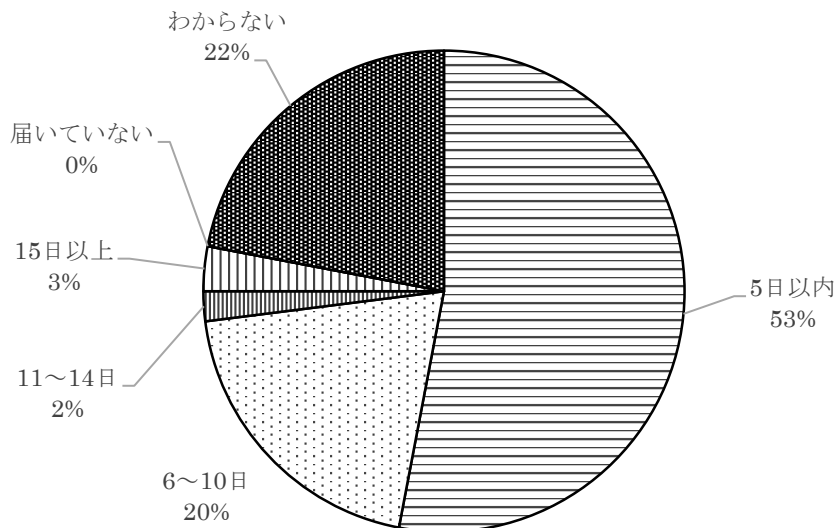
●その他

- ・読んでいる暇がなく、妻に大事な事だけ伝えてもらっている
- ・身内が受け取り片付けてしまうため、目にしたときのみ読む
- ・あとで読もうと思ってそのまま忘れてしまう。本当は毎回読みたい

問4 「広報ふじ」は、毎月5日と20日に発行（12月は5日のみ）しています。あなたのご家庭には、発行日から何日くらいで届いていますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

・5日以内	53人	53.0%
・6～10日	20人	20.0%
・11～14日	2人	2.0%
・15日以上	3人	3.0%
・届いていない	0人	0.0%
・わからない	22人	22.0%

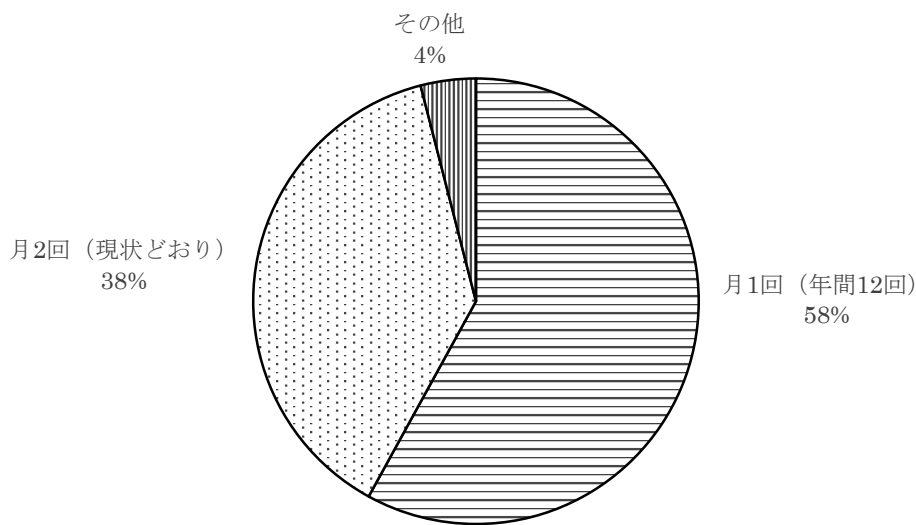


問5 「広報ふじ」は、月2回（12月のみ1回）発行していますが、現在「広報ふじ」を含む市からの配布物は、市内の各町内会（区）の地区委員の方に規定の報酬をお支払いし、月に2回配布をお願いしています。

月2回配布することは、地区委員をはじめ、配布をお願いしている町内会（区）の皆さんの負担が大きいという意見もあり、配布回数について検討をしています。今後配布回数が変更となる場合、どれくらいがよいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

・月1回（年間12回）	58人	58.0%
・月2回（現状どおり）	38人	38.0%
・その他	4人	4.0%

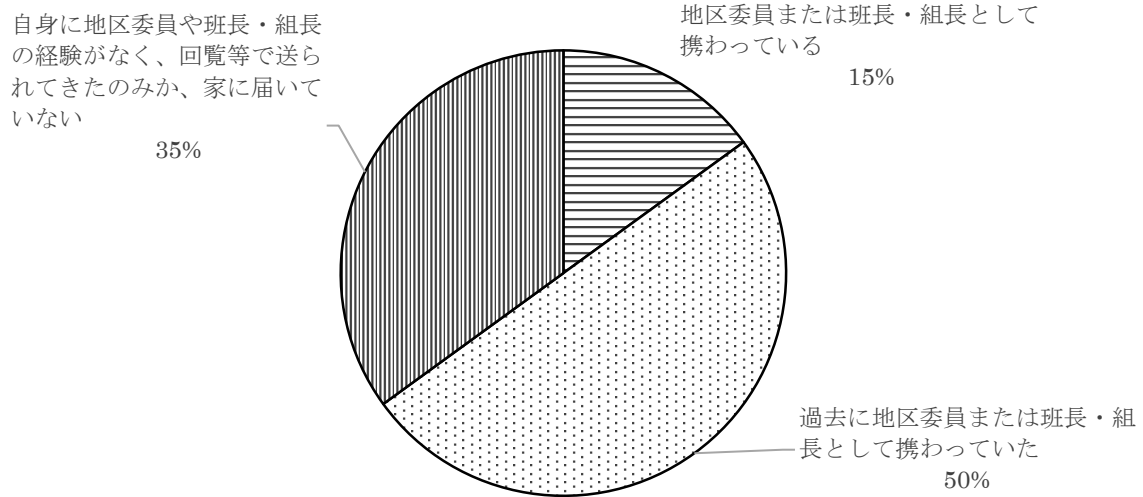


●その他

- ・インターネットで情報を閲覧できるうえ、環境に配慮したいので、配布自体をやめてほしい
- ・現状でよいと考えているが、委託された人が負担と思っているなら、検討しなくてはいけないと思う
- ・内容的には、月2回あるとよりよいが、欲しい情報が5日号なのか20日号か両方確認しないとわからないこともあるので、紙媒体だけでなく、スマートフォンなどで見たい時に見ることができるアプリ形式のものがあるといいと思う（あるようなら広報してくれるとうれしい）
- ・配布回数ありきではなく内容や必要性で判断すべき。住民が望む情報提供が1回配布では不十分の場合は2回配布となるだろう。2回配布をするがために記事収集に苦慮しているのなら、それは本末転倒なので月1回でも構わない。雑誌ではないので、市として何をどの程度市民に伝えたいかなのではないだろうか

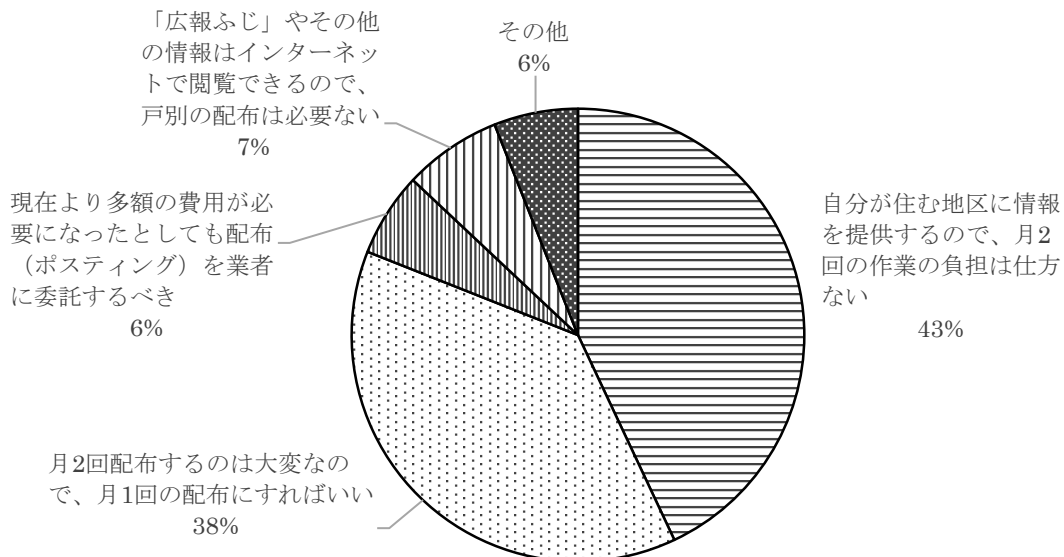
問6 あなたは「広報ふじ」を含む市からのお知らせ文書の配布に携わっていますか。次の中から1つだけ選んでください。

	回答者数	100人
・地区委員または班長・組長として携わっている	15人	15.0%
・過去に地区委員または班長・組長として携わっていた	50人	50.0%
・自身に地区委員や班長・組長の経験がなく、回覧等で送られてきたのみか、家に届いていない	35人	35.0%



問7 お知らせ文書の配布の作業について、あなたが地区委員や班長・組長の立場に立たと仮定した場合の考えに近いものを、次の中から1つだけ選んでください。

	回答者数	100人
・自分が住む地区に情報を提供するので、月2回の作業の負担は仕方ない	43人	43.0%
・月2回配布するのは大変なので、月1回の配布にすればいい	38人	38.0%
・現在より多額の費用が必要になったとしても配布（ポスティング）を業者に委託するべき	6人	6.0%
・「広報ふじ」やその他の情報はインターネットで閲覧できるので、戸別の配布は必要ない	7人	7.0%
・その他	6人	6.0%

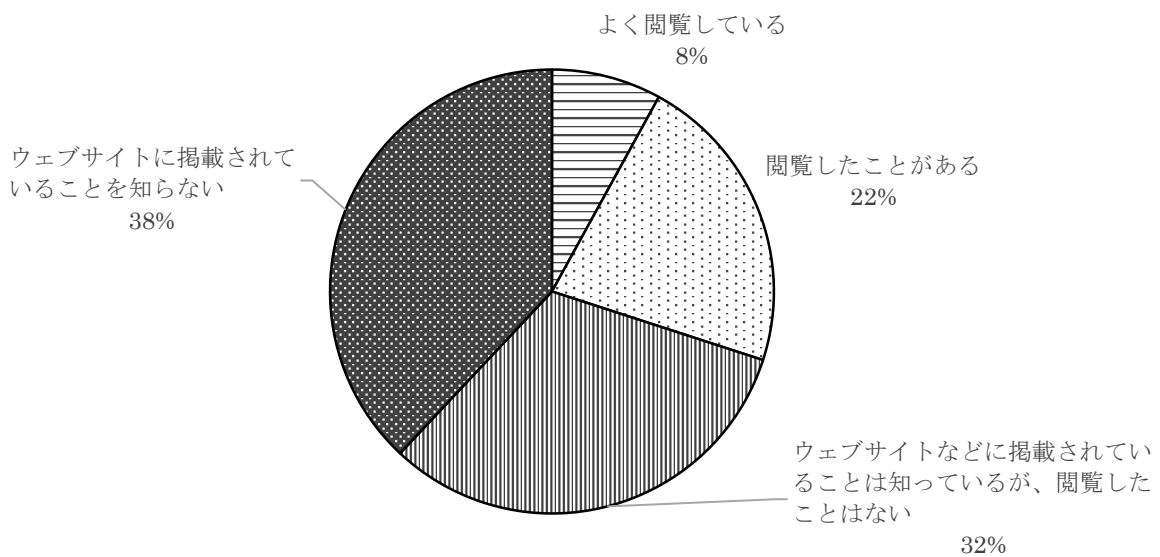


●その他

- ・班内を回覧する方式のため、負担にならない
- ・配布を大変だと思わない。回数が減ったとしても各戸に配布が確実だと思う
- ・「広報ふじ」がインターネット閲覧できるのを知らなかった。市民へのお知らせをメールやアプリなどで通知する方法を確立し、紙での配布の希望者へはこれまで通りの冊子を配布すればよいと思う
- ・班長として配るのは負担ではないが、全戸配布であれば、ユニバーサル就労として、ポスティングアルバイトを雇うのもよいのかもしれない。組長さんは、全班分戸数を数えてビニール袋に入れ、車で配布してくれているようだが、それは大変そうだなと思う
- ・組長の作業負担は感じない。地区委員となると部数・重量もあるので大変かも知れないが、誰かがやらなければならないのも事実。なお、情報伝達の手段としてインターネットの利用・紙資料の削減はすべきかと思う。ただし、インターネットを利用できない住民に対する配慮も必要

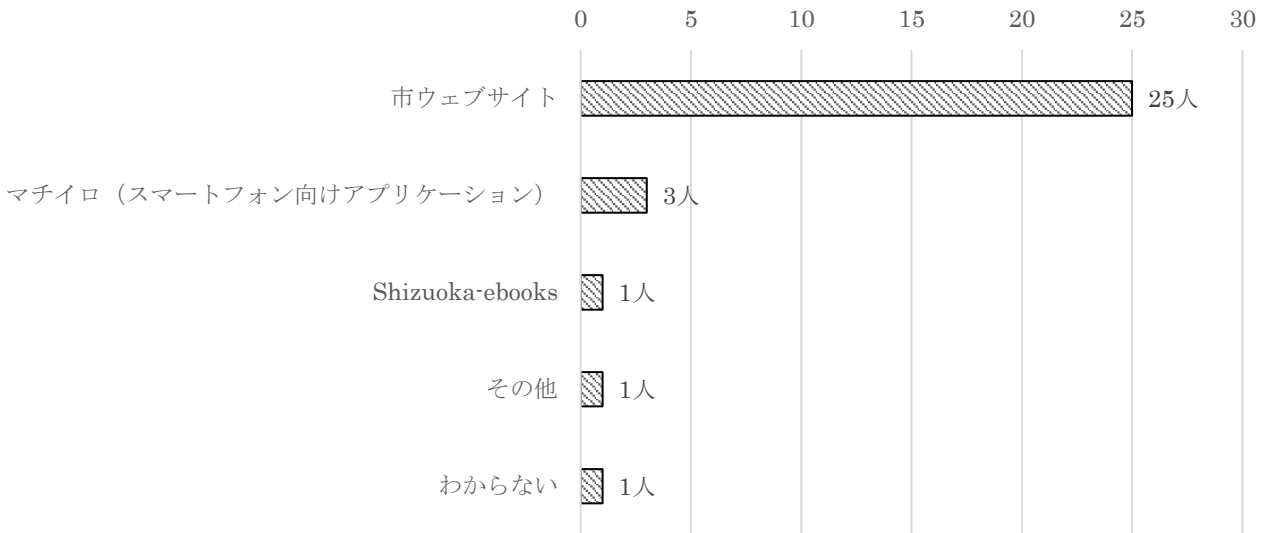
問8 「広報ふじ」はウェブサイトなどの電子媒体でも閲覧できますが、閲覧したことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。

	回答者数	100人
・よく閲覧している	8人	8.0%
・閲覧したことがある	22人	22.0%
・ウェブサイトなどに掲載されていることは知っているが、閲覧したことはない	32人	32.0%
・ウェブサイトに掲載されていることを知らない	38人	38.0%



問9 問8で「よく閲覧している」「閲覧したことがある」と答えた人に伺いますあなたが閲覧した電子媒体は何ですか。次の中から全て選んでください。

	回答者数	30人
・市ウェブサイト	25人	83.3%
・マチイロ（スマートフォン向けアプリケーション）	3人	10.0%
・Shizuoka-ebooks	1人	3.3%
・その他	1人	3.3%
・わからない	1人	3.3%



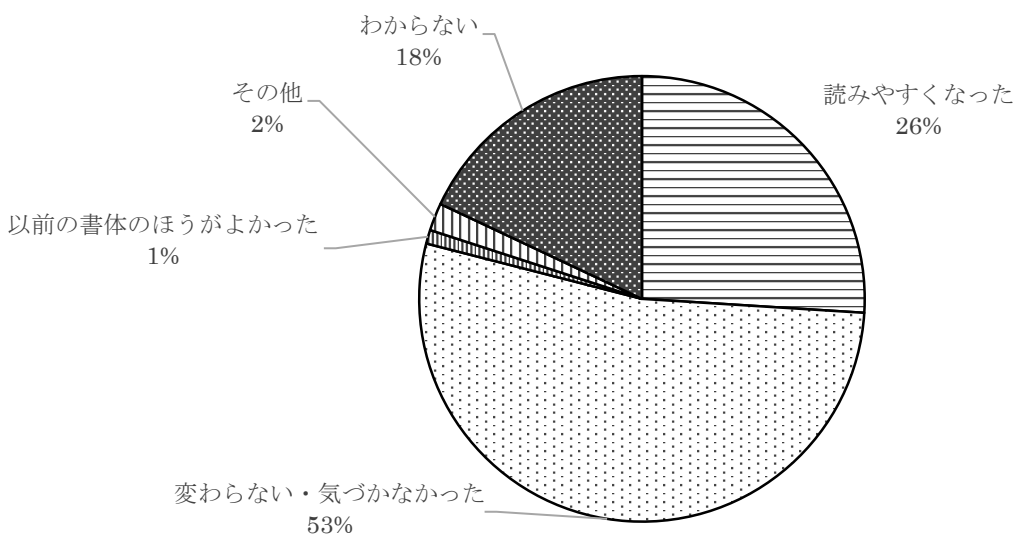
●その他

- ・ Facebook の共有

問 10 「広報ふじ」は平成 30 年 11 月 5 日号から、文字をより読みやすくするため、UD (ユニバーサルデザイン) フォントにしています。これまでの書体と比べてどのように印象が変わりましたか。次の中から 1 つだけ選んでください。

回答者数 100 人

・読みやすくなった	26 人	26.0%
・変わらない・気づかなかった	53 人	53.0%
・以前の書体のほうがよかった	1 人	1.0%
・その他	2 人	2.0%
・わからない	18 人	18.0%



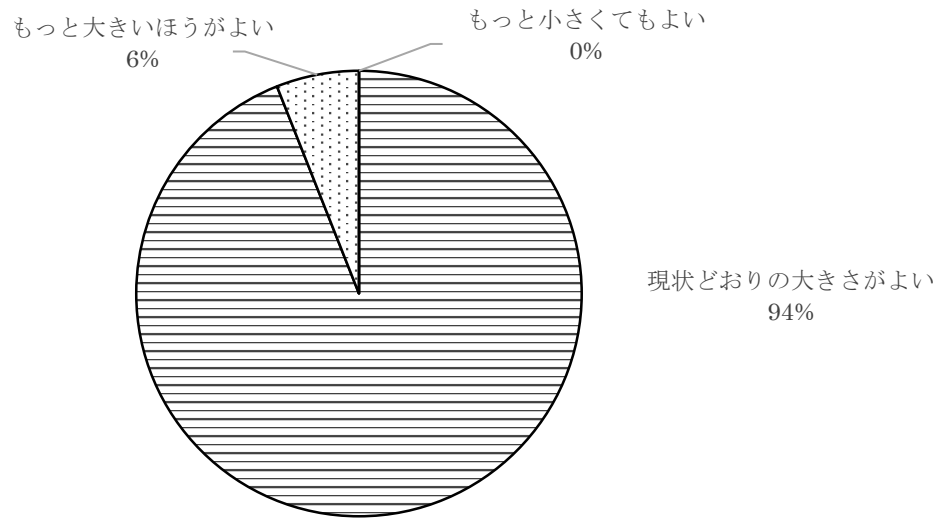
●その他

- ・気づかなかったが、UD フォントは、見やすいと思う
- ・ちゃんと読んでいないので、あとで比較してみたいと思う

問11 「広報ふじ」の文字の大きさは、全ての人に対しての読みやすさと、限られた紙面に掲載できる情報量から、現在の文字の大きさにしています。文字の大きさは適切だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

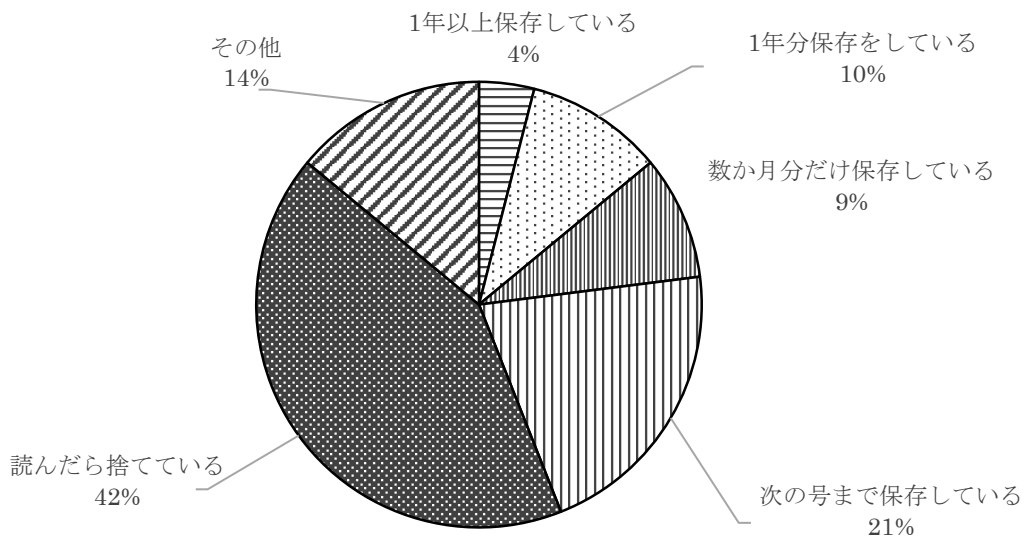
・現状どおりの大きさがよい	94人	94.0%
・もっと大きいほうがよい	6人	6.0%
・もっと小さくてもよい	0人	0.0%



問12 あなたは「広報ふじ」を保存していますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

・1年以上保存している	4人	4.0%
・1年分保存をしている	10人	10.0%
・数か月分だけ保存している	9人	9.0%
・読んだら捨てている	42人	42.0%
・次の号まで保存している	21人	21.0%
・その他	14人	14.0%



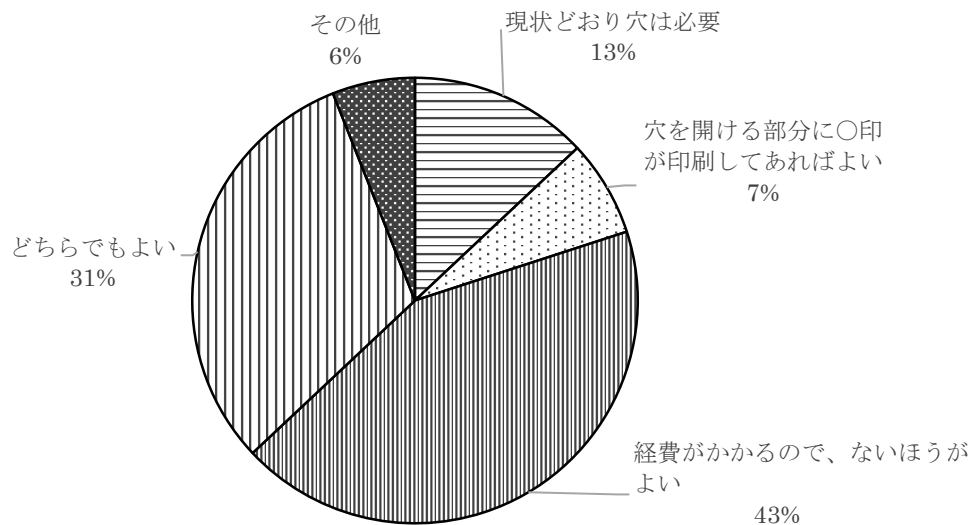
●その他

- ・目を通して自分に必要な情報がある号のみ保存し、残りは捨てている
- ・保存したい号があったときのみ保存している
- ・気になった号のみ保存している
- ・必要な記事はその部分だけ切り取って保管し、用が済んだら捨てる
- ・講座申し込みなど掲載内容で必要な時は保存している
- ・基本は1か月のみ保存しているが、あとから見返すことがあるので後悔することも多い
- ・情報として取っておきたい物は残し、あとは処分している
- ・組合に入っていない（実家と世帯別だが敷地内別居という形）ので、とりあえず、回覧板は回してもら
うが、広報ふじなどは、一通り見て回してしまうので手元には残らない
- ・必要のある部分だけ切り抜いて、あとは処分している
- ・気になった号のみしばらく保管する場合がある
- ・二世帯住宅なので、私は必要な所だけ写真を撮って、義父が一年以上保存している
- ・全て読み終わった後、興味のある記事は切り抜いて取って、そのほかは捨てている
- ・子どもが掲載されたりした物は保存している
- ・読んだら必要事項はメモをするか切り取りして、古紙回収用として置いている（再読なし）

問13 「広報ふじ」は小学校の人絵を見開きで表紙に掲載する元日号以外は、綴(と)じるために2つの穴をあけています。この穴は必要だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

・現状どおり穴は必要	13人	13.0%
・穴を開ける部分に○印が印刷してあればよい	7人	7.0%
・経費がかかるので、ないほうがよい	43人	43.0%
・どちらでもよい	31人	31.0%
・その他	6人	6.0%



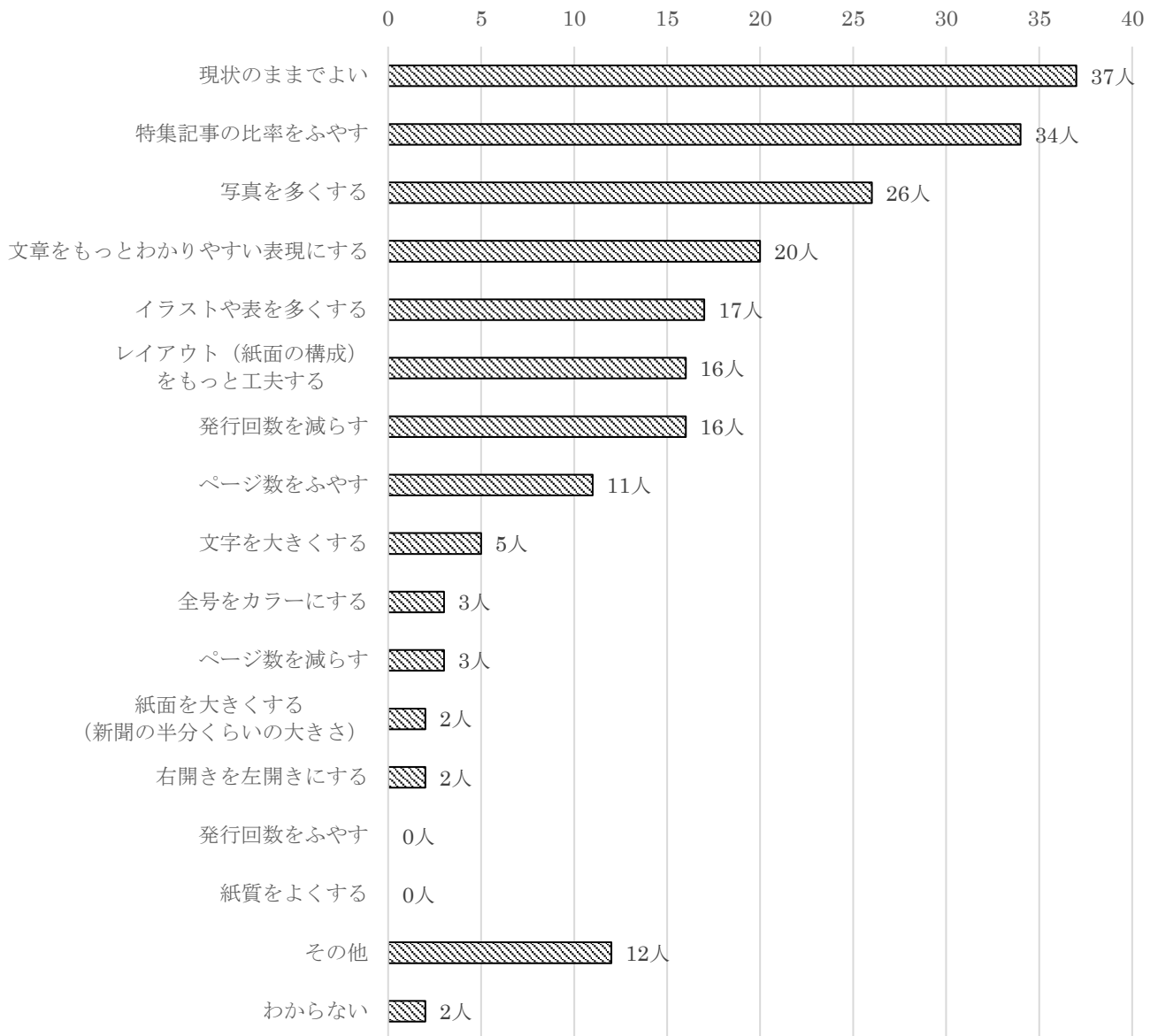
●その他

- ・穴があるため、そこは印刷できない。ないほうがよいし、経費も浮く
- ・私は保存に穴を利用していないので、気づかなかったが、これから利用したい。現在利用している人にとっては、続けてあげてほしいと思う
- ・穴は要らないので、針の要らないホッチキスなどで冊子にしてほしい。玄関ポストに届いた時に、バラバラになっていたりして不便なので
- ・パンチを必要とする人のために、中央に目印を印刷すればよいのでは
- ・穴があると、綴じるのにはよいと思うが、穴を使って綴じている人は、元日号に穴をあけるのを忍びなく思うかもしれないので、穴があるなら、全ての号に穴があったほうが良いような気がする
- ・義父が保存するのに穴があったら楽だと思うが、経費がかかるなら個人でパンチで開ければよい。保存している人は少ないと思う

問 14 「広報ふじ」は、市民の皆さんに読んでもらえる広報紙を目指していますが、さらに読みやすくするためにはどのような改善が必要だと思えますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

回答者数 100人

・現状のままでよい	37人	37.0%
・特集記事の比率をふやす	34人	34.0%
・写真を多くする	26人	26.0%
・文章をもっとわかりやすい表現にする	20人	20.0%
・イラストや表を多くする	17人	17.0%
・レイアウト（紙面の構成）をもっと工夫する	16人	16.0%
・発行回数を減らす	16人	16.0%
・ページ数をふやす	11人	11.0%
・文字を大きくする	5人	5.0%
・全号をカラーにする	3人	3.0%
・ページ数を減らす	3人	3.0%
・紙面を大きくする（新聞の半分くらいの大きさ）	2人	2.0%
・右開きを左開きにする	2人	2.0%
・発行回数をふやす	0人	0.0%
・紙質をよくする	0人	0.0%
・その他	12人	12.0%
・わからない	2人	2.0%



●その他

- ・表紙をパッと見て、読むべき情報がわかるようにする。それぞれの号によって対象世代が違っていてもよいかもしれない
- ・イベントを1ページではなく、大きくわかりやすくしてほしい（子どものイベントを特に）
- ・イベントの告知をふやす
- ・現状のままでいいけれど、時々インパクトがあると目を引きそう
- ・保管しやすいように綴じた状態だと助かる。また、小学1年生などの子どもでも読みやすいように、ルビをふるとか、言葉をわかりやすいものにしてほしい。特に、カタカナ用語（アイデンティティとか）も現在では日常的に使われているけれども、子どもにどういう意味か聞かれた時に説明しやすいように、日本語での意味も一緒に書いてあると、よりわかりやすく、お年寄りにもカタカナ用語が受け入れられやすいと思う
- ・年金のことなど市民に関心のあることを組み込む
- ・ウェブとリンクさせて、詳しく知りたい人はQRコードから専用ページが動画ページに飛べるようにして、そこからも改善意見提案を吸い上げられるようにすれば紙媒体も無駄ではなくなると思う。若者に見てもらって市について知ってもらうことが将来大切だと思う

- ・富士市民として、知ってほしいこと（新たな条例施行で市民に影響が大きなことや、富士市の状況など）と、市民の情報として欲しいニーズ（健康面、認知症予防、高齢者運転の安全確保など）を探索して、情報提供してほしい（皆必要な情報あれば広報を見るようになると思う）。この2点をもっと広報紙として強化すればよいと思う
- ・市民参加型の広報にする。自分が関わった記事があれば読むと思う。市のお得情報など
- ・目次に週刊誌のようにメリハリをつけ、読んでほしい、興味を持たれそうな記事を大きく表示するなど工夫があると、あ、これが載ってるんだ。と開く気がする。あと、表紙の写真を、内容と連動させるとなおよいかもしれない（毎回写真がすてきなのもったいないかもしれないが）
- ・デザインではなく掲載内容が重要である
- ・市政の案内に関心があるかどうか、が一番だと思う。記載されているような改善項目は全部とは言わないが、あまり本質的とは思えない

問 15 ここ2～3年の間に発行された「広報ふじ」の中で、印象に残った記事がありましたらお書きください。

- 自分の写真が使われた号 《理由》自分とか知人関係が載っていると印象に残るから（30代男性）
- 富士まつりについて 《理由》自分の子どもが参加していたから（40代男性）
- 結花乃さんの記事 《理由》地元なので頑張してほしいから（50代男性）
- 大会で優勝した、全国何位など頑張っている人の記事 《理由》富士市にも自慢になるようなすごい人がおり、富士市に住んでいてよかったと思うから（50代男性）
- ①自主防災における全ての関連記事②富士市における環境フェア③福祉における関連記事 《理由》①当時町内において防災の担当者で、よく記事を参考にいろいろな話を町民へしたから。②世界的な環境問題であり、個人的にも興味を持ち、注目していたから。③個人の年齢層が高くなっていて、病気療養、年金、交通手段など今後考えていかなければならないから（60代男性）
- FUJI & SUN' 19 キャンプフェスティバルの記事 《理由》写真が大胆な構図で、視覚に訴える迫力があつたから（60代男性）
- 富士市写真館 《理由》まちの移り変わりが激しい今日だが、過去はこのようなまちだったのかと思うし、公正に伝える手段であり、開発の是非を考える写真でもあると思うから（70代男性）
- 昔の富士市内の様子、学校や幼稚園保育園の活動の様子 《理由》今と違った市の様子が分かってよかったから。子どもが生き生きと活動している姿がとてもよかったから（70代男性）
- 暮らしのたよりの募集 《理由》審査員や市政モニターのような組織内の仕事をすることによって、自立した生活の継続ができると思っているから（80代男性）
- 予算決算の記事 《理由》市民の一員として生活の基礎になる毎年の予算決算の記事は必要不可欠で興味を持って見る内容だから（80代男性）
- 介護保険のことや福祉に関わる記事 《理由》福祉について学んでいるということもあるが、いろいろな人にもっと福祉を身近に感じてほしいという気持ちがあり、分かりやすく図で説明されていてよかったと感じたから（20代女性）
- 外国人労働者に関する記事 《理由》多文化共生について関心があるから（20代女性）
- 母親が働きながら子育てをしているという内容（富士青春市民紹介）《理由》周りの母親たちが苦勞していて、希望通りにいかずに復職か退職か悩んでいるのを見ているのでうまくいっている人もいるのだなと驚いたから。今の私には子育てと仕事を両立するには難しいことばかりなので、すごいなと感心したから（30代女性）
- 富士市に外国人がふえているという記事 《理由》なし（30代女性）

- 子育てに関するもの 《理由》子育て支援の施設紹介や無償化について知ることができたから (30代女性)
- 幼保無償化について、年金納税について、未納時期がある場合の対処法 《理由》自分に当てはまった内容だったから (30代女性)
- 青春市民紹介、市長への手紙 《理由》こんな人がいるのだ、と同じ働く母として勇気づけられた。市長の考えがわかってよいから (30代女性)
- 夏祭りの特集 《理由》おもしろかったから (30代女性)
- 表紙の写真に子どもの笑顔が載っているとき。「富士市の昔特集」 《理由》子どもの笑顔を見ると、幸せな気持ちになるから、富士市の歴史を知るきっかけになったから (30代女性)
- 賞をとった人の記事 《理由》市民で活躍している人は広報ふじを見ないと知らないので、取り上げてくれるとわかるから (40代女性)
- かぐや姫の方の記事 《理由》とても美しくかぐや姫にふさわしいと感動したから (40代女性)
- トイレトレーラー (移動トイレ) 《理由》災害対策を行ってくれている安心感と、他県の災害にも役立っていることを知ったから (40代女性)
- 市政 50 周年の記事 《理由》子どもたちが記載されたという理由もあるが、お祝いムードが紙面からも伝わり、楽しく見られたから (40代女性)
- 給食の特集、水道料金、公共機関やごみのお休みについて 《理由》気になることが丁寧に解説されていたから (40代女性)
- 保育料無償化 《理由》対象の子どもがいるから (40代女性)
- 若い方や同じ立場の主婦の方が頑張っている記事 《理由》それを読むことで、私も頑張らないと！と思うことが多いから (40代女性)
- 特集 フジシで生きる 《理由》外国人の人々が富士でどのように暮らし、働いて、日本の人々と協働しているかが少し垣間見えたように思うから (50代女性)
- 乃木坂 46 の若月佑美さんの記事 《理由》表紙のアップの写真が印象的で、近所の人だということもあるから (50代女性)
- みんなでごみの減量に取り組もう 《理由》富士市の一人当たりごみ焼却量の削減目標値も、実績値も、初めて認識したから (50代女性)
- 職員の給与と元旦号の表紙 《理由》市役所職員の給与は適正なのかと少し考えることがあるから。仕事をしている人は適正給与なのかもしれないが、仕事をさぼっている人に対しての給与は税金の無駄遣いだと思う。特に学校の用務員で仕事をそこそこに職員室で座ってエアコンのきいている所で仕事をしているふりを見かけるから。元旦号の表紙は我が子が通う小学校が載らないかな…と思っているから (50代女性)
- 1月号の干支の表紙、富士市の有名人の方の表紙 《理由》どんな絵を小学校で表現するのか、楽しみにしているから。富士市出身の有名人の方を知ることができ、初めて知る方も多くて驚いたから (50代女性)
- 若者の抱負のような記事、表彰者、ゴミの特集 《理由》若い人が頑張っているのを聞くのは楽しい。高齢の人がどんな貢献に対して表彰されているのか知ることができてうれしい。ゴミの分別について知ることができてうれしかったから (50代女性)
- 温水プールで行われている障害のある人に対応しているレッスン 《理由》障害のある人のリハビリというと病院で作業療法士が対応するものと認識していた。そんな中、温水プールで1対1でのリハビリ教室があると知った。そんな方法もあるのだと知ることができた。人間いつ障害をもつかわからないので、気分転換しながらリハビリを受ける人がいるということは、今頑張っている人に希望や励みになると思ったから (60代女性)
- 市長表彰 《理由》他市でも頑張っていた人々が富士で表彰されることに驚いたから (60代女性)

- ①工場夜景の表紙②水陸両用バス 《理由》①参加したから②体験したいと思っているから (60代女性)
- 職員の給与の記事 《理由》興味があったから (60代女性)

問16 あなたが、今後「広報ふじ」で特に知りたいと思うことや、取り上げてほしいと思うことがありましたらお書きください。

- 富士市内のイベント開催のお知らせ (30代男性)
- 各町内でやっているローカルなお祭り・夏祭りなど特集してほしい。運営をどうしているのかとか、盛り上がりはどうかとかの内側を知りたい (30代男性)
- 富士市のイベント、講座情報、まちづくりセンターの催し (40代男性)
- 富士市の将来像 (40代男性)
- 行事・イベント (40代男性)
- ①ペット情報(譲ります、探しています) ②ボランティアの募集情報③サークル・クラブ活動情報(登山・ハイキング仲間募集など) ④補助金や給付金情報(環境に優しい設備の導入に伴うもの) ⑤企業情報(我がまちの企業ピックアップ特集)「こんな会社が富士市にあったんだ〜!」というような情報発信(40代男性)
- 富士の治安状況など知りたい (40代男性)
- 富士市ならではの、もしくは富士市だけの行政サービスの紹介、市民活動イベントなどの報告記事 (50代男性)
- 社会人が大学などへ行くための無料塾の案内 (50代男性)
- 道路の整備などの地域の開発の状況 (50代男性)
- 富士市のみんなが知らないすごいことの特集。富士市をもっと好きになるためのすごいこと (50代男性)
- 防災、暮らし、福祉、今後の市政を今後ともお願いしたい (60代男性)
- 市内の各地区に伝わる、埋もれた歴史や文化を掘り起こし、手軽に歴史散歩できるような特集を連載してほしい (60代男性)
- 富士市内のいろいろなイベント情報や、市内の施設(医療、教育、相談室含め)の紹介と利用による効果のPRを取り上げてほしい (60代男性)
- イベント (60代男性)
- 地域セミナーやボランティア活動の開催実施やその案内 (60代男性)
- 読み物のような記事は不要。現在も掲載されているが、施設情報や行事・催し物スケジュールをさらに充実してほしい。また、種々の行政手続きなどの暮らしに直結する情報は、定期的に掲載もしくはどこで分かるか周知する必要がある (60代男性)
- 催し物、イベント、行事などももう少し広い範囲で知らせてほしい。20日号には最終ページに翌月の予定があるが、別ページ枠で知らせてほしい。前に組長をしていた時、回覧袋に入れて回していたが、あまりにも取らずに返ってくるので以後は個別配布にした。聞くと読まないから、ゴミになるから、いらぬなど、あまりにも広報に無関心な方々がいて市内全体ではかなりの無関心派がいるのではないかと。紙質や版を改良しても無駄な面がある。将来は必要とする家だけに配布する方法も検討してほしい (70代男性)
- 富士市の1年後あるいは2~3年後の姿、そこまでの進路や施策をわかりやすく説明してほしい(行政・医療・教育・観光などの計画・施策) (70代男性)
- 役所の各部、各課の仕事内容や取り組みを年2回(半年に1回程度)くらい「広報ふじ」に載せてほしい(最近特に多い困りごと、相談ごとなど) (70代男性)
- 富士市にも富士山文化遺産に登録できそうなものがある。例えば、最近やり始めた凡夫川の川祓い、水神

下の富士川の川祓い、米之宮浅間神社の浜神事など。観光客の誘致に関すること。公共施設や特徴的施設の紹介。これからの行政が進めたいことなど（70代男性）

- 市の財政収支報告、特に予算作成の過程及び多額の税を使用する項目のもう少し細部の補足説明を載せてほしい（70代男性）
- 富士市の事業項目にも入っているスポーツ振興について一度まとめてほしい（80代男性）
- まちの駅を順次紹介してほしい（80代男性）
- 児童虐待や母子・父子家庭に対する支援、介護、障害児や年金などの情報も発信してほしい。インターンシップについても掲載があるといいと思う。また、料理教室(お菓子教室)などもっと発信してほしい。主婦の方など、お菓子教室や料理教室に行きたいという気持ちはあっても値段が高いためらってしまうため（20代女性）
- ゴミの分別のマナーについて気になることがあるため、取り上げてほしい（20代女性）
- 富士市民だから“お得なこと”や子育て世代への支援（どんなことがあるのかうわさで聞くばかりであり知らない）（30代女性）
- 地域・お寺などの小さなイベント、はやりだしている病気とその対策や注意、富士市の病院紹介など（30代女性）
- 開催予定のイベント情報、ワークショップや教室の案内（30代女性）
- 献血についてもっと取り上げてほしい。現状、献血車が来る日のみの掲載となっているが、献血すればかわいいグッズがもらえることや、病院で行えば費用のかかる血液検査が無料でできることを知らない人が多い。身近でできるボランティアとして若者にPRする材料がたくさんある。私の職場には健康診断がないが、年に2回献血で血液検査をしているので健康状態を把握することができている（30代女性）
- 地域の情報やイベント、各教室、講座募集の事を取り上げてほしい（30代女性）
- 市のイベント情報や市で行っている事業について（30代女性）
- 現在子育て中で、とても全てに目を通す余裕はないが、子ども向けの講座や託児ありの母親向け講座がないかだけは、毎号チェックしている。いつも大変役立っているし、おかげでいろいろな講座やイベントに参加させていただいている。引き続き、子育て関連の記事やイベントの掲載をお願いしたい（30代女性）
- 富士市の個人病院について。富士市に伝わる昔話（30代女性）
- 富士市の自然や神社などのスポットを知りたい（30代女性）
- 幼保無償化において。保育現場の現状や、予算が足りているのか？この先この制度が続くのか？など（30代女性）
- 市議などが、取り組んでいることを含め、市民からの声や、それに対して市がどう考え、今後どうしていくかをもっと詰めてほしい（30代女性）
- 富士の特産品などの紹介（30代女性）
- 富士市の方向性や課題が、自分ごとに感じられるような記事があればよいのでは？各種相談窓口は、定期的に掲載するとよいと思う。困ったとき、どこに相談するのがよいのか分からないことが多い（30代女性）
- レクチャー、講座案内、コンサート情報、まち案内（40代女性）
- 今ここに行けばこんな花が見られるなどの季節の話題や、小・中学校の一生懸命取り組んでいること、学校ではやっていることなどの紹介（40代女性）
- 市内のイベントや講座情報（40代女性）
- 提出しなくてはならない書類のお知らせ（40代女性）
- よく、市民から問い合わせがある内容のQ&Aなど。施設の利用の仕方など、インターネットで調べるだけだといまいち内容が分からないものを、分かりやすく掘り下げて教えてくれたりする特集があったら読む（40代女性）

- ①月ごとのふじさんめっせでのイベントカレンダーや、ロゼシアターのイベントカレンダー、交流プラザなどのイベントカレンダーや、市内で行われるイベント情報の詳細を記載して、広報ふじを見ればすぐにわかるようにしてほしい。②あげます・下さいなどの、市民の間でのリサイクルやリユースの掲示板があればいいと思う（よく、岳南朝日に記載されている富士宮市のようなもの）。③ふだん、市長が何をしているのかわかりづらいので、市長の公務の予定など…防犯対策もあるかもしれないので書ける範囲で（月ごとや、平日は市役所にいるのか？市長の日々の勤務時間なども市民にはあまり伝わってないように思う）（40代女性）
- どんなときにとどの課に行けばよいかなどの市役所の各課の紹介（40代女性）
- 行事の募集や市であったすごいこと、これは市民なら知っておいてほしい、他市にはない自慢など（40代女性）
- 細かなイベント情報（40代女性）
- 富士市の新しい魅力、また昔の戦争時の話を高齢者から聞いてみたいと思う（40代女性）
- イベント情報、求人情報、身近な話題があると読みやすい（50代女性）
- 田宿川たらい流し川祭り、のような、“富士らしさ”満載の行事が取材・掲載されているとうれしくなる。子どものころ、日曜日の夕方に、サザエさんのオープニングで日本全国の地方の風景を知った世代としては、じんわりとしたうれしさだった（50代女性）
- イベント情報を広報ふじで知ることが多いのでとても助かっているし、楽しみにしている。花が好きなので花の情報を載せてほしい（50代女性）
- 富士市の観光名所など（50代女性）
- 市議会だよりも時折配布されるが、各議員のPR誌であり、今年度はどんな施策がどのくらいの予算がかけられ実施されるのかが伝わらない。各年度新たに取り組む内容もあるはずだが…（50代女性）
- 若者が富士市に戻ってくる、もしくは富士に残るためには、富士の企業が元気でなければならないと思う。企業が取り組んでいることや今後の展望など、若者が就業を考えると、親の目線、祖父母の目線からどのようなものかわかる情報を掲載してほしい（50代女性）
- 市がやっている介護老人ホームがどこにあって、利用状況とかの情報が知りたい（50代女性）
- 森林墓苑の永代供養塔の設置について検討してほしい（50代女性）
- 富士市内で開催されるイベント情報。富士市がかかわるものに限らず、できるだけ掲載してほしい（50代女性）
- ①富士市の家族の割合・・・単世帯何%2世帯何%とかの特集②富士市の高齢者ドライバーの問題の特集・・・教習所の高齢者講習でのアンケートや、市での取り組みなど③秘密でなければ、富士市での犯罪率の特集・・・どんな犯罪がどのくらい起きているとか④図書館、まちづくりセンター、プール利用率の特集・・・どんな年代の人がどのくらい利用しているとか⑤市役所の派遣社員の割合・・・どの部署で何%とか⑥富士市の公務員の人数も知りたい・・・どの部署で何人など⑦公務員の年代・・・どの年代が何%とか。以前実家の横浜の区役所に行って紙の申請でびっくりした。全国の役所にアンケートして富士市のIT化がいかに進んでいるかをみんなに知らせてあげたい。住民票のとり方だけ調べてもよい（50代女性）
- 交流プラザ、ラ・ホール富士、体育館の各種事業の記載に、ロゼシアターの主なイベントも加えてほしい（50代女性）
- 市役所からのお知らせ、スポーツやイベントのお知らせ（60代女性）
- 市民にとって役立つ情報がほしい（現状でも満足しているが）。富士市で個人的に活躍している人を紹介しながらワークショップのような教室（レッスン）を取り上げてほしい（市民ひとりひとりが楽しみを持つことができる情報）。活字だけの情報ではなく、その指導者の紹介もほしい（店なら写真も）（60代女性）
- 昭和のころのまちの様子（60代女性）

- ネットやスマホを持っていないので、広報ふじの情報源としての役割は大きく、必ずと言っていいほど目を通してしている。私の周りの高齢者もそんな人が多い。ページがふえても知りたい (60代女性)
- 広報ふじの情報源は大切なので、情報が遅れないでほしい (今までのやり方でよいと思う) (60代女性)
- 市内各種領域の活動団体・グループの紹介。市内の講座のOB会・同好会の紹介(できれば、暮らしのたよりの講座・教室へ掲載) (70代女性)
- 老夫婦2人暮らしなので、幼稚園、小・中・高の学校行事の記事に関心がある (70代女性)

問17 その他「広報ふじ」について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

- 今まで住んでいた所はどこも、月1回、または2か月に1回の発行だったので、富士市は多いと感じていた。内容を凝縮し、発行回数を減らすのがよいと思う (30代男性)
- もっと有益な情報を掲載したほうがいい。例えば、各地区の祭事、場合によっては企業が主催する催事、要するに市民が「得」と感じる情報を「市」が用意する。これを毎号必ず掲載させる。家に届くのが楽しみになるようにするには一番有効だと思う (40代男性)
- 富士市で行われるイベント、催しの案内を充実させてほしい (40代男性)
- いろいろな募集があるが、ファクスがないので電話での申し込みを設けてほしい (40代男性)
- 今後も頑張ってよりよい紙面を作成してほしい (50代男性)
- Webの広報ふじの充実と、その広報をすべき (50代男性)
- 今年度、地区の班長業務を行っているが、この活動を通して「市」の広報活動の一端を認識(+参加)しているところ。「広報ふじ」によく目を通すようになった (60代男性)
- 市議会だよりや市立病院などの関係情報が別に印刷・配布されるが、広報ふじに一体化できないか。縦割り行政の悪いところで、市からの配布物の種類が多ければ配布負担が大きくなることは子どもでも分かること (60代男性)
- こちら編集室の皆さん毎回ご苦勞様。毎回必ず拝読させていただいている (60代男性)
- 毎号読みやすく、内容も充実し、よい広報紙だと思う。カラー写真は美しくよい (70代男性)
- いつも楽しみにしている。今後も発行を期待している (70代男性)
- 毎月2回の定期発行、記事の編集、レイアウトの設定など大変な知識と労力を費やしていると思う。今後も継続して欲しい (80代男性)
- 広報ふじが手元に届くのを心待ちにしており、自分にとっていろいろな面でよい教科書になっている。今後もあらゆる情報を知らせてほしいと思う (80代男性)
- 広報ふじに掲載されている写真がきれいで毎回楽しみにしている (20代女性)
- 財政的に負担になっているのなら減らしていいと思う。その分編集にかけられる時間がとれると思うので、より内容の濃いものをわかりやすく教えてほしい (結局ウェブやパンフレットを確認するのは面倒)。講座や教室などは参考になっているし、すてきな内容は見ていて楽しい (30代女性)
- 自分はあまり見る機会がないが、よく見ている母いわく興味のある記事があまりない、特集記事やイベント情報がわかりやすく掲載されているとありがたいとのこと。個人的には富士市がかかわっているワークショップなどが多く、いろいろできて楽しく思っているので、これからもそのような情報を多く取り扱ってほしい (30代女性)
- 富士市にはたくさん病院があるが、診療時間帯や点滴ができるなどの情報がわかるとうれしい。イベントも一部は大きく載せるようになったが、その他イベントも電話したり、調べたりせずにスケジュールがわかればよい (30代女性)
- 以前、市宛てに意見したことがあるのだが「我が家のアイドル」コーナーの廃止を強く希望する。昨今、

子どもの人権保護や個人情報保護の意識が世界的に高まっている。市へ意見したときの回答は親の承諾を得ているため個人情報保護されているとのことだが、自分で意思発信のできない子どもの顔と名前を勝手に発信してしまうことに危機感を感じている。子どもは親の所有物ではない。ひと昔前なら楽しいコーナーだったかもしれないが、SNSで簡単に個人が特定できてしまう昨今、どの家にどういう顔と名前の子どもがいるのか、子どもの承諾を得ずに勝手に発信されてしまうことはやはり問題だ。言い方は悪いが、親の自己満足に子どもの個人情報を利用し、その発信に市が加担している。昨今の情勢を鑑みても、近い将来問題になるのではと懸念している（30代女性）

- 広報ふじのホームページでも、富士市のアピールポイントなど、例えばドラマ撮影の舞台になったスポットを紹介したりすれば、市外の人が富士市に興味を持ってくれたり、観光客もふえると思った（30代女性）
- 毎号、楽しみに読んでいます。小さな子どもがいるので、イベント情報を知ることができ、お出かけ予定に入れたりでき、ありがたい。市の事業や行っていることも、なかなか知らないことがあるので、分かりやすく説明して載せていただいているのはありがたい（30代女性）
- いつも楽しみに読んでいます。あれだけのボリュームのものを毎月作成するのは、いろいろとご苦労があると思う（30代女性）
- 広報ふじについては申し訳ないが、配布されたら自分に関係がある記事があるかどうかを見て、関係のありそうなお知らせだけをざっくり読んで終わってしまっているのが現状。もっと興味が持てるような身近な内容が載っていたらよいと思う。例えば、小さな個人病院や診療所は情報が少ないので、いわゆるまち医者と言われる身近な病院の紹介のようなものが載っていたらよいなと思った。また、現在は広報ふじを受け取っている私だけが読んでるので、子どもも一緒に読めるような、例えば富士市の昔話のような記事があったらよいなと思った。子どもと、自分たちが暮らす市のこんな身近な所に、こんな言い伝えがあるんだね、と話せたらすてきだと思う（30代女性）
- 広報ふじの1番最後の編集者のコメントをみるのも、楽しみのひとつ。つくるのも大変だろうし、配布するのも大変だと思う。いつも、ありがとうございます。楽しみにしているので、これからも頑張ってください（30代女性）
- 毎号楽しみにしており、特に暮らしのたよりが好きで気になったイベントは参加している。社宅に住んでいたときは2、3号まとめて届くこともあり、まちづくりセンターにもらいに行っていたが、今は月2回配布されているのでありがたい。富士市のことがよくわかり、表紙の写真も好感が持てる。娘が以前取材を受けて載ったことがあり、3冊ほどいただいて大切に保管している。（40代女性）
- ①工業都市なのはわかるが、富士山世界遺産にも登録されたので、もっと観光に関する情報を記載し、観光にも力を入れてほしい。②富士市に引っ越してきた人や、ふだん車での移動が多い人には、富士の公共交通の利用の仕方（特にバス）についてわからない人がいるので、乗降の仕方や、またどの方面がどこに行くのか…もっとわかりやすく定期的に広報ふじで工夫できないだろうか（引っ越してきた方は地理がわからず、十兵衛だとか中通りだとか臨港線や富鷹線と言われてもわからないとのこと）。③メールで広報ふじがスマホに届くようになればいいのと思う（メールで広報ふじのリンクに飛べるアドレスを発行日に送信してくれるサービスがあれば…）（40代女性）
- いつも楽しみにしている。また情報満載な広報ふじをお願いしたい（40代女性）
- 月2回くらい出ると大事なお知らせの見落としがなく安心だが、発行する側や配る側が大変となると月1回に変更するのも仕方ないかとも思う（40代女性）
- ひそかに、富士市民の増減数を見るのが好きだ（40代女性）
- まちかどネットワークの内容はすてきだが、場所は最後にするとか工夫したほうが良いような気がする（40代女性）
- これからも頑張ってください。イベントなどのお知らせをよく見ている。いろいろな行事を知ることができ

- て、楽しい（40代女性）
- やっぱりこのまち富士が好き・・・の言葉にあらわれているように、富士市の人は私を含め富士が好き人が多いと思う。その富士のことが少しでもわかる広報紙であるとうれしい（50代女性）
 - 私は暮らしのたよりをよく見る。資格試験や募集、イベントを見て申し込むこともある。また、県外から来た方や外国人の方に教えてあげる時もある。富士市のことがとてもわかりやすく身近な話題を毎号楽しみにしている（50代女性）
 - 譲ります、譲ってくださいコーナーが欲しい（50代女性）
 - 読みやすくてわかりやすいお知らせである反面、同じような記事ばかりと思うこともある。もっとレイアウトに工夫があってよいと思う。写真などもいろいろなアングルからのものを何枚か入れると、印象深くなると思う（50代女性）
 - Uターン組の一人として感じるのは”昔のまま”の広報ふじの安心感。いまの取材姿勢のまま、変わらずにいてほしい（50代女性）
 - 行政のPRばかりが強調され、市民への情報伝達という部分が弱い気がする。仕事の関係で東部・伊豆の他の市町の広報紙を読むが、富士市はいまいち（50代女性）
 - 近隣の市町村の広報紙も、紙面で取り上げてみると違いが分かりやすいと思う（50代女性）
 - 改めて広報を読みたいと思った。時々、後から「広報に書いてあったよ」と聞いたり、広報に載っていたことに気づかないで話している知人がいたりする。100%活用できなくても皆さんに役立っているのではと思う。お年寄りにはいい読み物のようだ（50代女性）
 - 広報ふじは、他市の広報紙に比較して、なかなか質も高く、編集も苦勞して作成している感じがわかる。一般的に月1回配布が多いなか頑張っており、地域において配布の苦勞はあると思うが、今後の高齢化を考えると、紙媒体は必要だと思う。また、比較的よく読まれており、広報に載せた募集や開催紹介は利用されていると思う。今後は、地域の配布の方法を、区長だけでなく、自治体全体で負荷分担するような工夫も各自治体が検討・実行する必要を感じる。たいへんだから、減らす・止めるのは少し安易で、このような情報媒体をいかに活用して市民生活の活性化に繋げるかを考えていってもよいように思う（60代女性）
 - 写真などカラーできれいだと思った。これからもカラーで見たい（60代女性）
 - 地域の取り組みなどの紹介や困ったり悩んだりしたときの助っ所（NPO法人）（例えばこういうときに困ったら、こんなところがあります。というような）の紹介、力を与えてもらえるような富士市で頑張っている人の紹介（60代女性）
 - 必要な情報が取り上げられていてよい。写真も興味深く、案内もわかりやすく効果的でよい（60代女性）
 - 内容も幅広く毎回楽しみにしている。文章もわかりやすく、文字の大きさも読みやすく満足している。編集する人も配布する人も大変だと思うが、市民全体がネット社会と繋がっているわけではないので、発行する回数もこのままでお願いしたい（60代女性）
 - 暮らしのたよりの募集と講座・教室の掲載数をふやしてほしい(市主催でなくても民間のも掲載)ボランティア・サポーター・市民活動などの募集案内も掲載してほしい（70代女性）
 - 紙面の問題もあるが、各地区で特色ある行事及び催しもの、地区で活躍している方、地区の公園など、地区の紹介などの紙面をもう少し掲載していただきたい（70代女性）
 - 私も数回取材されたことがある。みなさん頑張って読みやすいよい記事を書いてくれていると思う（70代女性）